



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# アニコム損害保険株式会社(B)

## 業界専門家からみた市場の展望とアニコムの課題

### アニコムの印象

大手損保では市場規模が小さすぎてやれなかったことを、アニコムがやったことで、市場開拓に大きく貢献し、業界最大手になりました。ただし、商品設計が自らの首を絞めているように見えます。2014年3月期のアニコムの正味損害率は66.7%、アイペットは34.1%です。またアニコムの1契約あたり平均4件の請求はペット保険業界の中では多い方です。

動物病院を中心に開拓したことで逆選別が起きたのではないのでしょうか。保険ビジネスにおいて初期の顧客は必ずしも優良顧客とは限りません。普及していない中でも契約するということは、保険の必要性が顕在化している、つまり何らかの病気なり、けがなりを持っている層のため、損害率が高い顧客を取らざるを得なかったのではないかと思います。

アニコムは、動物病院で傷病の診断をされた後にも加入できるので、病院が加入を勧めることがあると聞いています。その方が、飼い主の金銭負担が少なくなるため、高額の治療を受け入れやすくなるそうです。病院としては高額治療をすれば利益になります。

また、手術・入院型ではなく健康保険型のサービスを中心にしたことで千円以下の、査定不可の請求が多いことが要因ではないかと推測します。また、この損害率の高さが、他サービスや商品開発の足かせになるのではないかと懸念しています。逆に競合や新規参入検討者はこれらの状況をよく学んで参

.....  
このケースは、慶應義塾大学ビジネス・スクールのクラス討論の基礎資料として清水勝彦教授の監修のもとM36の小河泰史、金原幸作、土田麻梨亜、萩野 早が作成したものであり、経営上の適切もしくは不適切な状況処理を例示しようとするものではない。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

Copyright© 清水勝彦、小河 泰史、金原幸作、土田麻梨亜、萩野 早（2015年5月作成）

入ってきていると思います。

会社自体もあまりベンチャー企業のような感じはしないですね。アニコムレセプターから入り、販売代理店を整え、火災保険も手掛けようとしているところは、ベンチャー企業というよりもむしろ保険会社のよ  
5 うに感じます。

## 保険ビジネスの特徴

10 保険はビジネスモデルで違いが打ち出しにくいいため、おそらく最後は利差(運用益)が勝負になります。差別化が難しいので、市場が成熟してくるとブランド勝負となり、最終的には TVCM を使ってブランドイメージの向上を図るようになります。大手保険会社が毎年多額の広告宣伝費を投入して TVCM をしているのがその証拠です。

15 また、直販市場を作るのであれば、安い商品で惹きつける必要があります。競合の利益率の一番高い商品を廉価で売ると勝てる傾向にあります。業界二位のアイペットの「うちの子 Light (手術特化、月額 780 円～)」はこれに該当します。これだけではなかなかスケールしませんが、これをきっかけにアイペットを認知して、その中から「うちの子 (アニコム同様、通院から入院・手術をカバー)」を契約してくれる人が出てくることを狙っているのでしょう。

20 現在、アニコムとアイペットで日本のペットショップの 9 割はカバー済みでしょう。シェアはペットショップカバー率でおおよそ決定してきます。2 社のカバー率を比較すると、アニコム : アイペット = 6:4 (重複なし) というところです。将来的にはブリーダーとの直接取引や、譲渡団体経由の取引も増えているため、ペットショップ自体の数は減るのではないかと考えられています。一方で医療機関は複数の保険を取り扱ってしますが、アニコムの方が対応病院数は多いです。

25 ペットショップは、動物愛護法の規制がどんどん強化されている為、廃業・倒産が多くなると見えています。チャンネルとして押さえているペットショップの数よりも、質が問われることになると思います。

30

## ペット保険市場の成長性をどう見るか

犬の寿命が平均 14 年で、ペット保険業界が 5 年前から本格化したと見れば、今後 10 年は伸びる余地はあると言えるでしょう。ただし、ソーシャルゲームのような爆発的な成長はないです。イオンやドコモ等、競合は今後増えると思います。イオンは特に怖いですね。(図 1 はイオンペットのHPから抜粋したイオンペットの事業展開)

ペットの出荷頭数は2003年で頭打ちと言われています(ジャパンケネルクラブの登録数より)。寿命が伸びて飼育頭数の減少は緩やかですが、寿命の14年~15年目を迎える2017年、2018年に一気に飼育頭数が減少する可能性があります。最近ではペットの痴呆症や介護に注目が集まっていますので、そのような保険商品も広まると考えられます。

## 今後のアニコムの子業展開

損害率を如何に下げられるかがポイントでしょう。小森さんはワンマンという業界の噂もあるため、思い切ったことが出来るのではないかと注目していきたいです。またアニコムは火災保険の免許も取得したようですが、大手企業がひしめいている中、なぜそこへ向かうのかは分からないですね。私の目からは勝ち目があるように思えないので、理由を伺ってみたいですね。これは、保険業界出身の小森社長の影響が強いのではないかと思います。

もう1つの方向性としては、保険を掘り下げて行くのではなく、ペット関連の事業を広げ、掘り下げていくという多角化も考えられます。一般にペットを持つ人は、可処分所得が高いので、そういう顧客層のデータが集まるのは、事業展開上、いろいろな意味で魅力的です。ただし、何十社も生き残れるほどの市場規模はないので、プレイヤーが増えたら集約はいずれ進むでしょう。(家庭動物にかかる年間支出調査 図 2)

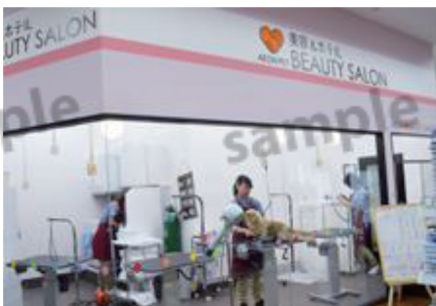
(図 1) イオンペットの事業展開 (イオンペットホームページより)

### 1. ペットショップ



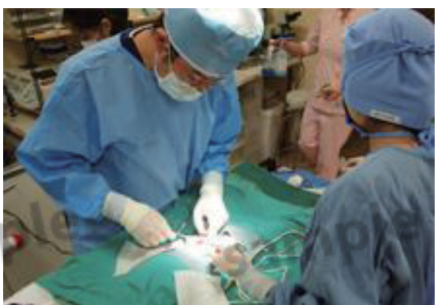
ペット関連商品の販売を行っています (生体のぞく)。圧倒的な品揃えと、多様化するニーズに応える品質とサービス力でお客さまをお迎えします。

### 2. ペットトリミング



ペット美容に関する全てのサービスを提供しています。お客さまに最高のサービスを提供できる環境を目指し、技術者を実践で指導する『トリマー養成所』も運営しています。

### 3. 動物病院・クリニック



『確かな獣医療をもとに安心とやさしさを提供します』を理念にもつ動物病院・クリニックを運営。

#### 4. ペットホテル



全国に約180店舗を展開。特に、成田空港第二ターミナル内のホテルは約150室、250頭のワンちゃんネコちゃんが滞在可能な本格的ペットホテル。

#### 5. しつけ教室



イオンペットのしつけ教室では、生涯、より幸せでより楽しい生活を送る為に、ペットと飼い主様が共に学べますよう、専門ドッグトレーナーがお手伝い致します。

#### 6. 介護ケア



高齢や健康上の問題で日常生活での介護が必要なワンちゃんをお預かりするプランです。24時間スタッフ常駐のペットホテルのノウハウを活かしたケアと24時間獣医師常駐のお預かり施設で高齢や治療が必要なワンちゃんも安心してご滞在頂けます。

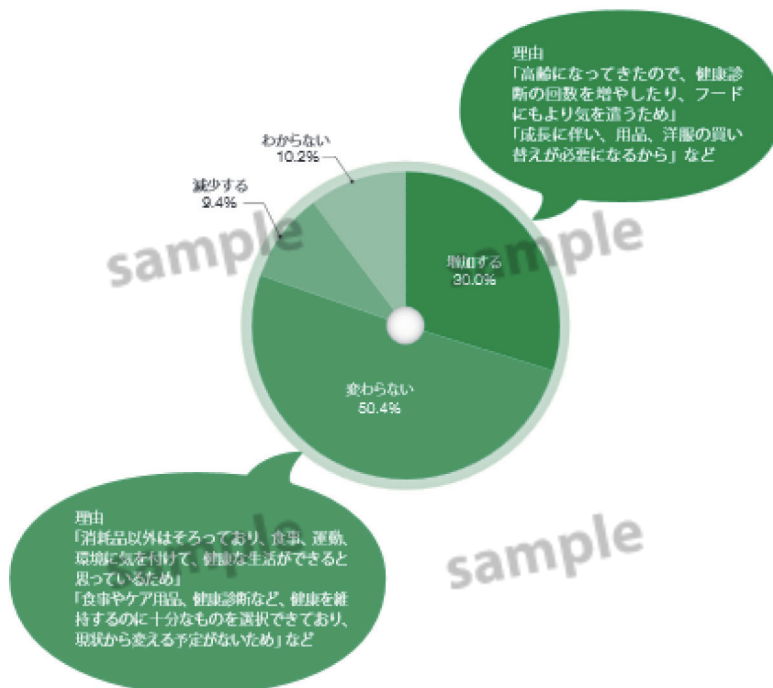
(図 2) 家庭動物にかける年間支出調査

## 5. 家庭どうぶつにかける年間支出調査

1-1-18 1年間にかけた費用(犬・猫)

項目	犬			猫		
	2012年(円)	2013年(円)	前年比(%)	2012年(円)	2013年(円)	前年比(%)
病気やケガの治療費	74,506	75,400	101.2	45,712	35,599	77.9
フード・おやつ	46,140	47,965	104.0	46,944	36,182	77.1
しつけ・トレーニング料	40,488	34,128	84.3	—	—	—
シャンプー・カット・トリミング料	38,829	39,226	101.0	6,426	6,492	101.1
ペット保険料	35,005	34,564	98.7	27,538	28,054	101.9
ワクチン・健康診断などの予防費	27,311	26,986	98.8	13,391	13,117	98.0
ペットホテル・ペットシッター	23,134	20,297	87.5	15,976	20,704	129.6
日用品	17,010	18,064	106.2	17,116	19,173	112.0
洋服	14,650	13,925	95.1	3,436	5,182	150.8
ドッグランなど遊べる施設	7,216	7,058	97.8	—	—	—
防災用品	6,436	6,193	96.2	4,526	5,634	124.5
首輪・リード	6,309	7,280	115.4	3,078	3,035	98.6
合計	337,034	331,026	98.2	184,143	173,172	94.0
回答数	1,792	2,027	—	337	436	—
どうぶつの平均年齢(歳)	4.7	4.8	—	4.6	4.4	—

1-1-19 2014年にペットにかける費用の見込み



1-1-18～1-1-19

調査方法：アニコム損保のペット保険「どうぶつ健康」の契約者に対し、ペット1頭へ支出した費用について、インターネット上でアンケートを実施した。

実施期間：

・2013年分調査：2014年1月15日～1月20日(有効回答数2,564)。

・2012年分調査：2013年1月10日～1月15日(有効回答数2,204)。

(アニコム「家庭どうぶつ白書2014年」より抜粋)

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

---

不 許 複 製

---

慶應義塾大学ビジネス・スクール

---